

「魅力ある観光コンテンツづくり」などへの取り組み

1 要 旨

静岡市の観光は、旅行者1人あたりの消費額が低いこと、観光客に占める宿泊客や外国人観光客が少ないことなど、質と量の両面に課題を抱えています。

本市では、これらの課題に対応するための最優先の取り組みとして、国内外の旅行者を引きつける魅力的な観光コンテンツづくりである「SDGs の-美食・絶景・歴史-感動体験のまち創造事業」を、令和6年度当初予算に7,200万円を盛り込んでいます。

今般、その財源となる内閣府「デジタル田園都市国家構想交付金」の採択が決定しました。

この事業では、令和6年10月～令和8年度末までの2年半の間に約2億1,000万円の規模で、地域資源を商品化するための企画・開発やブランディングなど観光コンテンツづくりを進め、旅行者1人あたりの消費額を高める、すなわち“質を向上”させるための支援を行います。

さらに、例えば、施設・店舗内表示・対応の多言語化や食事メニューの多文化対応などインバウンド客の受入れのノウハウ習得や体制づくりにより、受け皿となる施設・店舗の“量の拡大”につながる支援も行い、市内の観光消費額の拡大に質と量の両面から取り組んでいきます。

今後、「SDGs の-美食・絶景・歴史-感動体験のまち創造事業」の事務局として市内観光事業者を支援できる専門的知見を有する事業者の選定を進め、意欲とポテンシャルのある市内観光事業者と連携して、具体的な観光コンテンツづくりなどに取り組めます。

市内観光事業者の皆さまには、市内消費の拡大と年々増加するインバウンド客の誘客に向け、本市の取組に、ぜひ参画していただけるよう、お願いします。

2 今後のスケジュール

令和6年9月上旬

「SDGs の -美食・絶景・歴史-感動体験のまち創造事業」事務局となる事業者の応募開始

令和6年10月中旬

「SDGs の -美食・絶景・歴史-感動体験のまち創造事業」事務局となる事業者の決定

令和6年10月中下旬から令和9年3月

本事業に参画いただける市内観光事業者を募集し、観光コンテンツづくりを推進

(商品の企画・開発、ブランディング、モデルコースづくり、セールス・PRなど)

【参考】

「デジタル田園都市国家構想交付金」とは、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、地方公共団体の意欲的な取組を支援する制度です。

当事業では、観光や農林水産業の振興を念頭に置いた「地方創生推進タイプ（横展開型）」を活用しています。(補助率 1/2、上限額 8,500万円、事業期間 3年間まで)

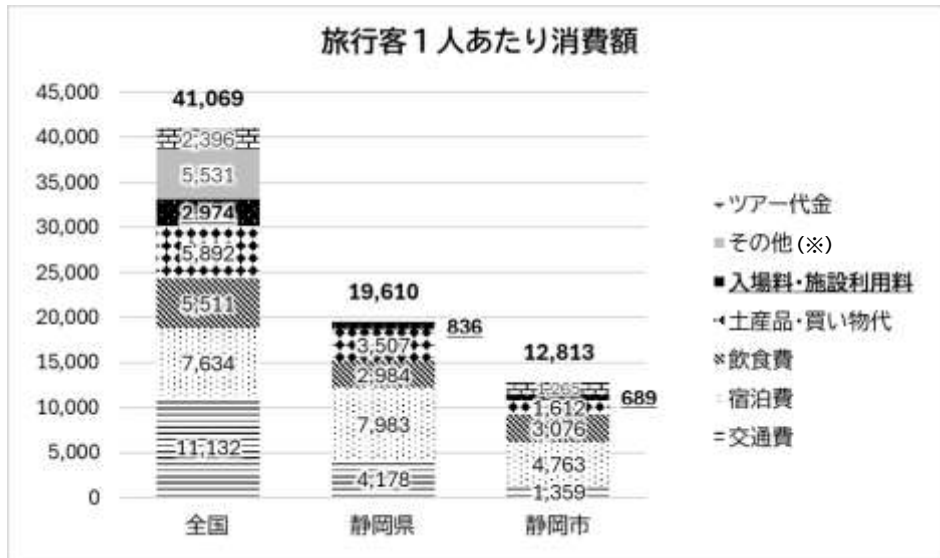
次頁あり

3 本市の観光政策の課題

(1) 旅行者1人あたりの消費額が低い

本市の旅行者1人あたりの消費額は12,813円で、全国や県を大幅に下回っています。

特に、「宿泊費」「土産品・買い物代」が全国や県を大幅に下回っているほか、「入場料・施設利用料」など体験に関する消費額が689円と極めて低い金額となっています。



※その他：旅行の前後で生じる消費が対象、全国調査でのみ把握。

出典：全 国…観光庁「旅行・観光消費動向調査（2022年度）」から静岡市が計算
 静岡県…静岡県「静岡県における観光の流動実態と満足度調査（2022年度）」
 静岡市…（公財）するが企画観光局「来訪者調査（2022年度）」

(2) 訪日外国人旅行者（インバウンド客）が少ない

1人あたりの消費額が高いとされるインバウンド客が全国と比較して少ない。

	全国（A）	静岡市（B）	割合（B/A）
延べ宿泊者数	2億2,734万人泊	111.5万人泊	0.49%
うち、外国人延べ宿泊者数	5,288万人泊	5.4万人泊	0.10%
【参考】人口	1億2,396万人	67.4万人	0.54%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（第2次速報）」の2023年4月～2024年3月の各月の値を静岡市が集計し作成

(3) 宿泊客の割合が低い（滞在期間が短い）

旅行者に占める宿泊客の割合が、全国や静岡県と比べて低い。

	日帰り客	宿泊客	出典
全国	44.4%	55.6%	観光庁「旅行観光消費動向調査（2022年度）」
静岡県	47.4%	52.6%	静岡県「静岡県における観光の流動実態と満足度調査（2022年度）」
静岡市	56.5%	43.5%	（公財）するが企画観光局「来訪者調査（2022年度）」

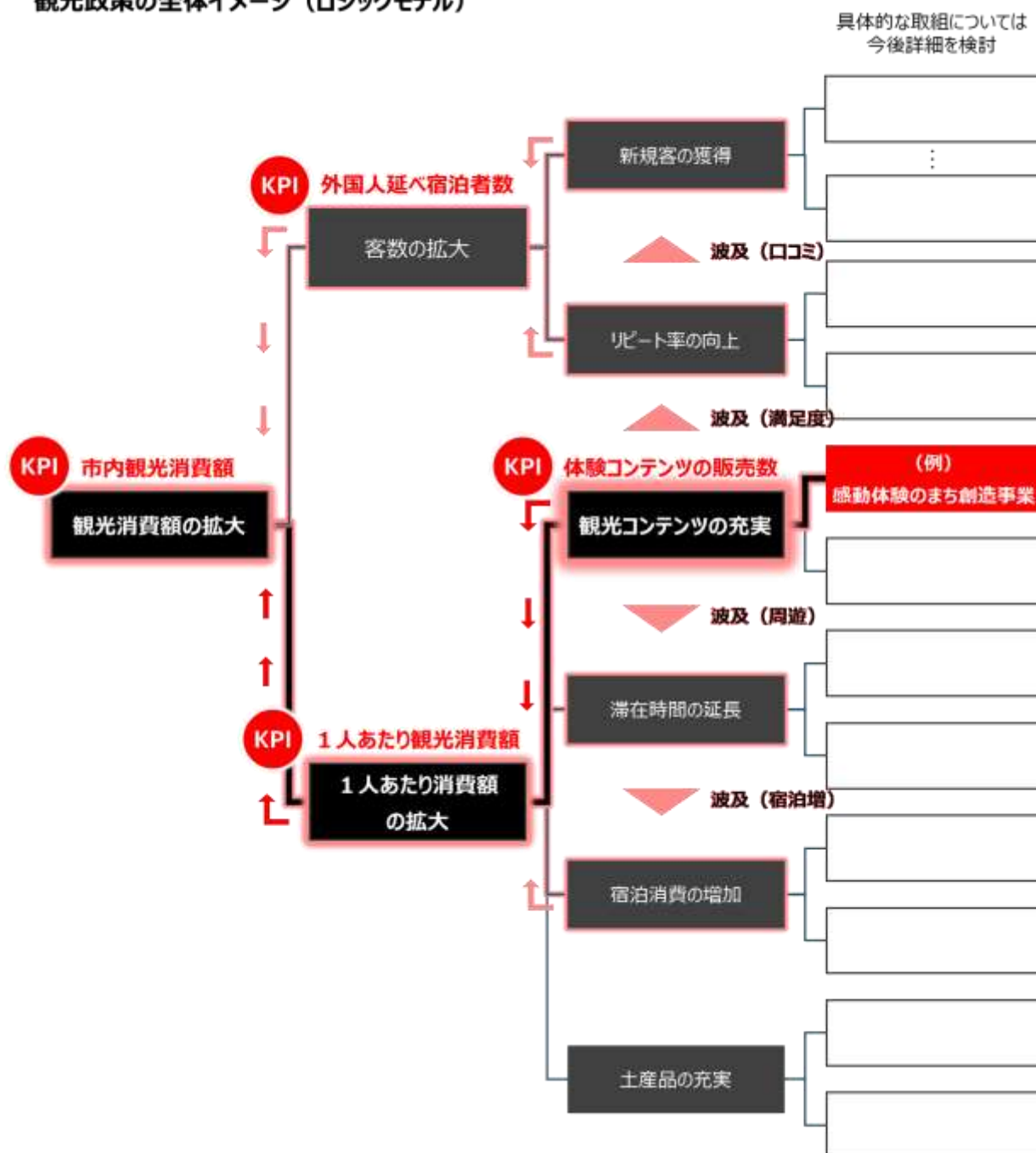
次頁あり

4 課題への対応

前述の課題やその要因への対応として、本市ならではの「観光コンテンツづくり」に最優先で取り組みます。

魅力的な観光コンテンツの充実は、旅行者1人あたりの消費額の向上に直結するほか、滞在時間の延長（ひいては宿泊客の増加）、リピート率の向上、良質な口コミの伝播による新規客の獲得などにも効果が波及し、最終的には、本市が重視する市内の観光消費額の拡大に資するものと考えています。

観光政策の全体イメージ（ロジックモデル）



※KPI（Key Performance Indicator）

… 目標達成のための各プロセスにおいて達成度合いの計測と評価をするための指標

担当：観光政策課(054-221-1454)